WEEKLY

情報提供資料

IAM MARKET INSIGHT
マーケット・インサイト

2026年11月9日

代表取締役社長　秋野 充成

いちよしアセットマネジメント

今週のポイント

米中間選挙では民主党が圧勝、AI（人工知能）投資の規制強化への懸念から関連銘柄が大幅に下落

中間選挙ショックが炸裂しています。日経平均株価は6日、前日比で3,643円（6.0%）下落し、4月以来約7か月ぶりの水準に沈みました。ブラックマンデー※1、令和のブラックマンデー※2に次ぐ歴代3位の下げ幅です。

3日に投票が行われた中間選挙は、事前想定を大きく越える民主党の圧勝となりました。さらに、テキサス州をはじめとする共和党の牙城においても民主党知事が誕生し、データセンターを中心にAI投資の規制強化を警戒したマーケットはパニックに陥りました。AIブームの終焉を織り込んでいると見られます。SOX（フィラデルフィア半導体株指数）は4日から6日にかけて12.2%下落、日経半導体株指数も15.4%下落しています。

決算期末を控えた投資家がポジション（持ち高）圧縮を急いだことも下落に拍車をかけました。米国では昨年からデータセンター投資関連を除くとGDP（国内総生産）成長率がマイナスとの観測もあり、マーケット参加者はリセッション（景気後退）の到来、そして金融ショック発生を意識したものと思われます。

選挙の結果が規制の動きに与える影響は大きいものの、AI開発が停止に追い込まれることはないと見る

米NBCの出口調査によると、56%の投票者が投票においてAIデータセンターを重視したと回答。政府の腐敗（90%）、生活費（89%）、イランでの戦争（74%）、移民取締政策（73%）に続く争点となりました。そして、AIデータセンターを重視した投票者の65%が民主党に投票しており、民主党躍進の一因になったことは間違いありません。

かねてより民主党はデータセンター等、AI投資規制に積極的です。今年3月には、同党のオカシオ・コルテス下院議員とバーニー・サンダース上院議員が、一定の安全策（環境・労働者・消費者保護のルール）が整うまでデータセンターの新規建設を止める法案を提出しています。民主党はデータセンターの接続や送電網増強、環境整備にかかる費用を、一般の電力利用者ではなく、データセンター事業者が負担する仕組みを求めています。

今回の選挙結果が規制の動きに与える影響は大きいと考えられます。ただし、AI開発は経済面にとどまらず、政治・軍事面においても最優先課題であることは間違いありません。中国との覇権争いにおいてAI開発で優越することは米国の最重要戦略です。民主党としても（左派は別として）、AI開発を停止させることはありません。州レベルの規制強化についても電力等のコスト負担、環境配慮を通じてデータセンター建設中止ではない落としどころを見出せるはずです。

現状の株価水準は日米ともに割安。今後の転機は11月下旬の米アンソロピックのIPO（新規株式公開）か

想定外の下落相場を目の当たりにして、マーケット参加者が過度な悲観に陥ることは不思議ではありません。このような状況においてこそ、総弱気センチメント（市場心理）に惑わされることなく冷静になる必要があります。

現局面での最重要ポイントは、ハイパースケーラー（大規模クラウド事業者）の投資態度です。規制強化の方向は間違いなく、コスト増は必至で投資採算、資金調達に一段と厳しい目が向けられます。しかし、マイクロソフトのサティア・ナデラCEO（最高経営責任者）が示唆している（同氏は2合目に到達したばかりと表現）ように、AI開発は緒に就いたばかりであり、2031年までの投資額が大幅に減額されることは想定できません。

そして、総弱気で売り込まれた現状の水準は、SOXの12カ月先予想PER（株価収益率）で14.2倍と、2025年の相互関税ショックの水準を大きく下回っています。また、TOPIX（東証株価指数）のPBR（株価純資産倍率）も1.65倍となり、3月の対イラン戦争勃発時の1.66倍を下回っています。米国の景況感は足元好調で近い将来に陰りはありません。10月の雇用統計も、市場予想を大きく上回っています。米国企業の第3四半期業績は純利益ベースで24.4%増益（5日時点）と非常に好調です。また、国内企業の中間業績も純利益ベースで44%増益（6日時点）と極めて好調です。転機は11月下旬に想定されるAI開発企業アンソロピックのIPOです。延期されることなく資金調達を行えば、AIブーム終焉を織り込んだセンチメントは大きく回復に向かうと思います。AIブームの終焉、リセッション到来、金融ショック発生、トランプ相場終焉を否定し、現状は買いの好機と想定しています。

※ 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

～ワンポイント用語集～

※1　ブラックマンデー…1987年10月19日（月）、ニューヨーク株式市場で起こった過去最大（当時）の暴落のこと。ドル安に伴うインフレ懸念の台頭が主な要因。ニューヨーク市場の暴落は全世界に波及、各国で同時株安となった。

※2　令和のブラックマンデー…2024年8月5日（月）、米景気後退懸念の高まりや日銀の利上げに伴う急速な円高進行を背景に日経平均株価が前日比4,451円安と過去最大の下げ幅を記録した歴史的暴落のこと。

ICHIYOSHI ASSET MANAGEMENT CO., LTD.

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。
◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績等の記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。